

連携病院へのアンケート 集計結果（案）

大阪医科大学
女性医師支援センター
2021年1月26日

概要

- 対象 126病院
- 回収率 46%（58病院より回答あり）
- 期間 2020年12月7日～12月25日
- 内容 女性医師の勤務環境について調査

アンケート項目を大きく3つに分類し、それぞれの内容について「あり」「準備中」「なし」で回答いただいた。

- 方法 文書で依頼を行いFAX及びメールで回収

アンケート調査項目

I. 女性医師に対するライフイベント支援関係

- ①産前産後休暇制度
- ②育児休業制度
- ③この看護休暇制度
- ④介護休業制度
- ⑤介護休暇制度

II. 女性医師に対する勤務継続への支援

- ⑥短時間勤務制度
- ⑦宿日直免除
- ⑧時間外勤務免除
- ⑨複数主治医制

⑩タスクシェア

⑪シフト勤務（時差出勤）

⑫非常勤ママの受入れ

⑬復職医師の受入れ

III. 女性医師に対する託児施設への整備

⑭院内保育所

⑮夜間保育

⑯病児保育

⑰一時保育

⑱ベビーシッター券補助

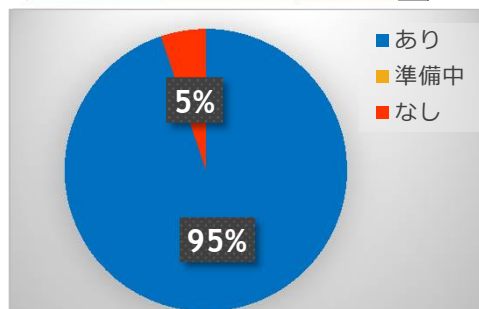
I .女性医師に対する ライフイベント支援関係

- ①産前産後休暇制度
- ②育児休業制度
- ③子の看護休暇制度
- ④介護休業制度
- ⑤介護休暇制度

①産前産後休暇制度

あり	準備中	なし
55	0	3

件数

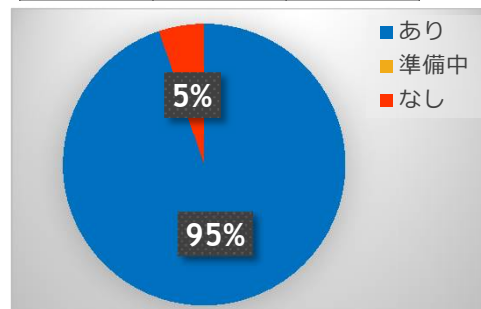


「法律どおり」が大多数を占め、「なし」の場合は、本人の希望をきくとのことである。

② 育児休業制度

あり	準備中	なし
55	0	3

件数

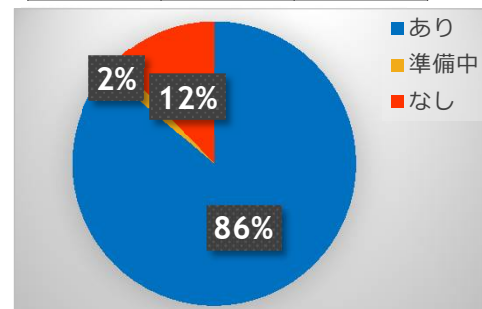


「法律どおり」が大多数を占め、「なし」の回答は、本人の希望をきくとのことである。

③子の看護休暇制度

あり	準備中	なし
50	1	7

件数

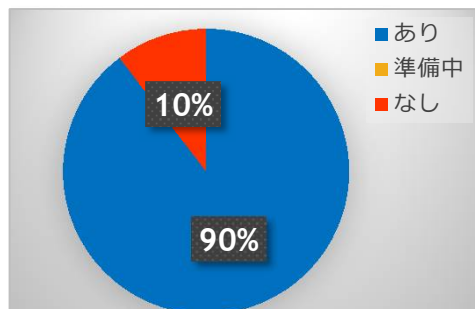


休暇を有給にするか無給にするかの判断は病院により対応が異なる。

④介護休業制度

あり	準備中	なし
52	0	6

件数

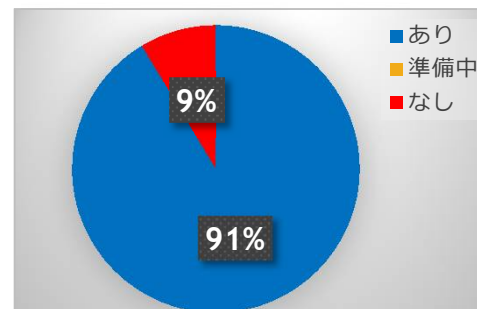


「法律どおり」が大多数を占め、「なし」の回答は、個別に契約するとのことである。

⑤介護休暇制度

あり	準備中	なし
52	0	6

件数



休暇を有給にするか無給にするかの判断は病院により対応が異なる。



I. ライフイベントについてまとめ

- ◆ 産前産後休暇、育児、介護休業など 「法律に準じている」との回答はほぼ100%であった。女性医師がいないため、制度「なし」と回答した病院もあるが、個別の対応が可能とのことであった。
- ◆ 子の看護、介護休暇は、「取得可能」との回答が90%以上であった。待遇面では有給無給かは病院によって異なり、雇用形態により有給無給を決めている病院もある。
- ◆ 全ての病院で法律に基づく支援体制は整っているようであったが、医師の業務の特殊性から一部女性医師への対応が遅れている可能性がある。

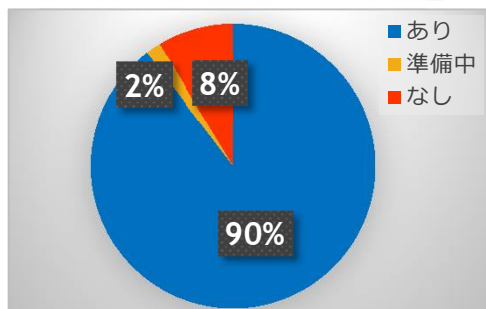
Ⅱ． 女性医師に対する 勤務継続への支援

- ⑥短時間勤務制度
- ⑦宿日直免除
- ⑧時間外勤務免除
- ⑨複数主治医制

- ⑩タスクシェア
- ⑪シフト勤務（時差出勤）
- ⑫非常勤ママの受入れ
- ⑬復職医師の受入れ

⑥短時間勤務制度

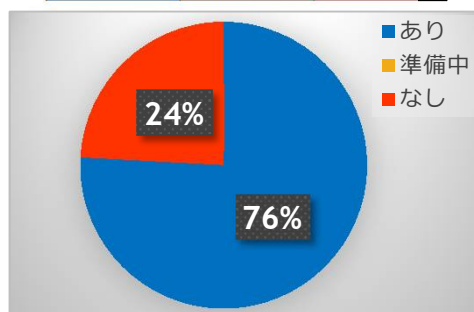
あり	準備中	なし	件数
52	1	5	



「制度あり」が大多数を占め、勤務時間、出勤日数などを制度化している病院もあり、本人と面談の上、決定するとの回答もある。

⑧時間外勤務免除

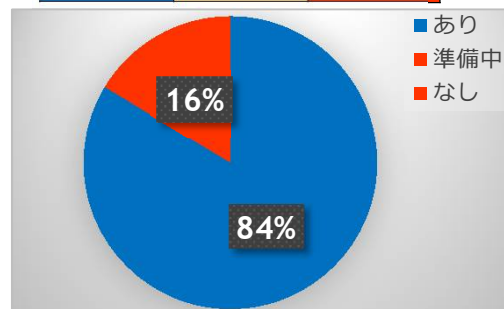
あり	準備中	なし	件数
44	0	14	



制度「あり」との回答が多いが、具体的には個別契約と回答した病院が多数である。

⑦宿日直免除

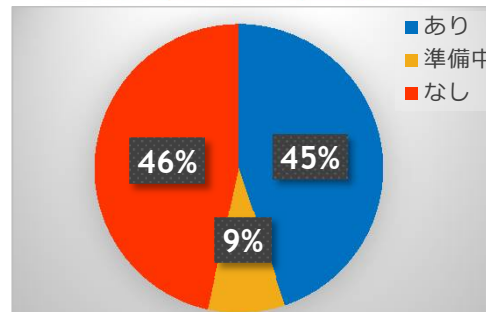
あり	準備中	なし	件数
46	0	9	



制度「あり」との回答が多いが、具体的には個別契約と回答した病院が多数である。

⑨複数主治医制

あり	準備中	なし	件数
26	5	27	

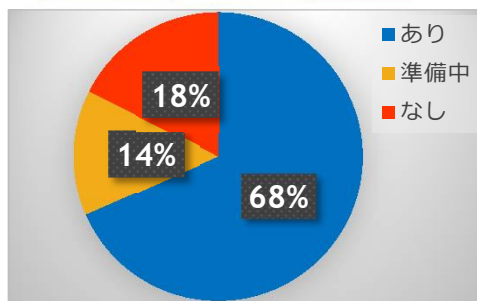


制度「あり」「なし」は半数ずつを占め、一部の診療科、また、全ての診療科で実施しているとの回答がある。



⑩タスクシェア

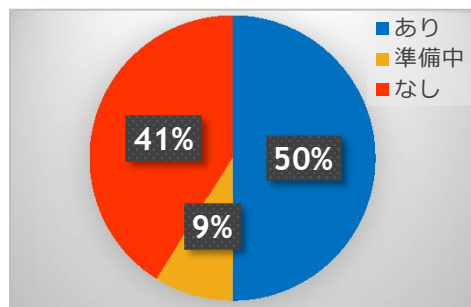
あり	準備中	なし	件数
39	8	10	



「医師事務作業補助者の活用」が最も多く、その他、「特定行為研修修了者の活用」「薬剤師」「社会福祉士の病棟配置」などがある。

⑫非常勤ママの受入れ

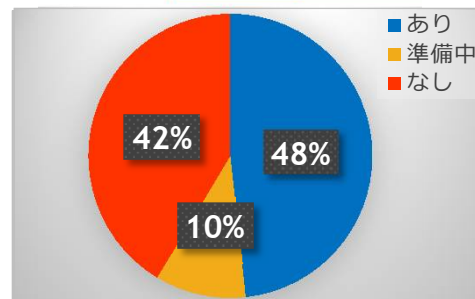
あり	準備中	なし	件数
28	5	23	



半数の病院が受け入れており、外来勤務のみとしているところもあり、勤務日数、勤務時間は要相談との回答が多い。

⑪シフト勤務（時差出勤）

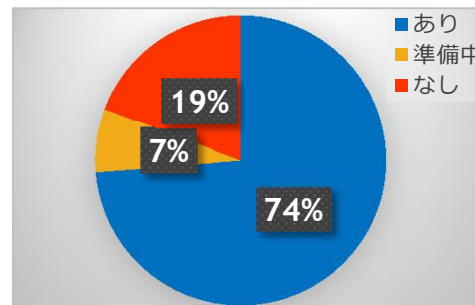
あり	準備中	なし	件数
28	6	24	



子が小学校に就学するまでや、要介護の家族がいる場合に半数の病院が時差出勤が可能であり、勤務時間などについては相談に応じるとの回答がある。

⑬復職医師の受入れ

あり	準備中	なし	件数
42	4	11	



本人の申出により受け入れを行っているとの回答が多くを占め、受け入れにあたり、時短勤務の許可や、宿日直免除などの配慮を行っている。



Ⅱ．勤務継続支援についてまとめ ①

- ◆ 短時間勤務制度について「制度あり」との回答した病院は約90%を占めた。対象者、勤務時間、給与など病院により対応は様々であった。
- ◆ 宿日直、時間外勤務の免除は可と回答した病院は約80%であり、「規定は特にないが個別に対応する」と回答した病院はその中の半数を占めた。
- ◆ 複数主治医制を「あり」とした病院は約50%を占めた。診療科により異なるとの回答が多いが、すべての診療科が対象との回答もあった。

Ⅱ．勤務継続支援についてまとめ ②

- ◆ タスクシフトを利用しているとの回答は67%あった。その中で「医師事務作業補助者」を利用しているとの回答が、70%強を占めた。
- ◆ シフト勤務、非常勤ママの受け入れについてはそれぞれ50%の病院が「あり」と回答した。
- ◆ 非常勤ママの受け入れには、院内保育室の利用が可能であったり、勤務時間帯の希望を聞いてもらえたり、勤務環境への配慮が見受けられた。復職医師の受け入れについては実績ありとの回答した病院もいくつかあり、育児などで離職していた場合でも対応可能であるとの回答は70%以上を占めた。

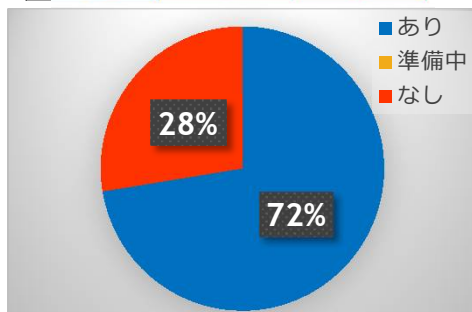
Ⅲ. 女性医師に対する 保育・託児施設への整備

- ⑭院内保育所
- ⑮夜間保育
- ⑯病児保育
- ⑰一時保育
- ⑱ベビーシッター券補助

⑭院内保育所

あり	準備中	なし
42	0	16

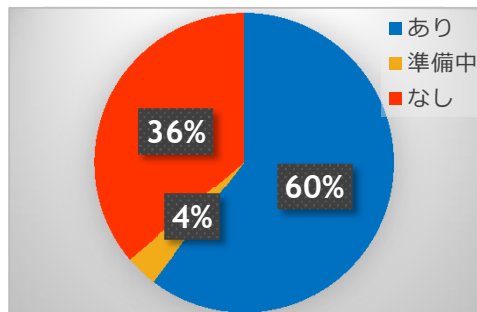
件数



⑮夜間保育

あり	準備中	なし
35	2	21

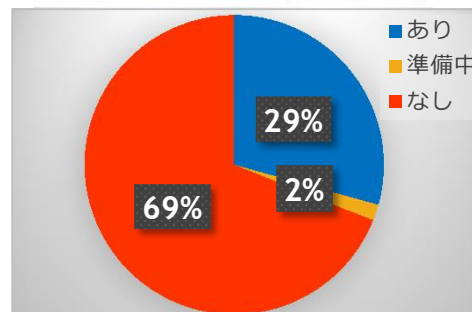
件数



⑯病児保育

あり	準備中	なし
17	1	40

件数



開始年齢は2ヶ月、3ヶ月、6ヶ月からと異なり、就学前まで預かる病院もある。

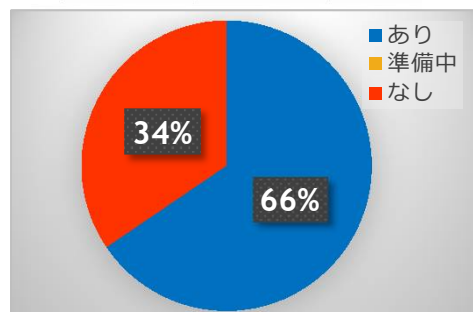
曜日を決めて運営している病院が多く、翌日の9時半まで利用可能な病院もある。

「あり」は全体の30%弱であり、「なし」が半数以上を占めている。

⑰一時保育

あり	準備中	なし
38	0	20

件数

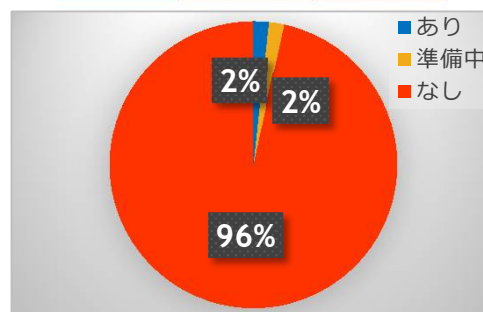


院内の保育所を託児所として対応しているとの回答が多く占めている。

⑱ベビーシッター券補助

あり	準備中	なし
1	1	56

件数



取り扱っていない病院が多いが、制度「あり」と、「今後利用を再開する」の意見もある。



保育・託児施設への整備についてまとめ

- ◆ 対象年齢にはばらつきがあるが、全体の72%で院内保育所の利用が可能である（法人の施設を含む）。一方、利用率が低く閉鎖したり、今後廃止を検討しているとの回答もあった。
- ◆ 夜間保育や一時保育の整備状況に比較して、病児保育はそれらの半数ほどであった。（夜間保育60%、一時保育65%、病児保育30%）

総括

- ◆ 当センターの経験から最も女性医師の関心が高いと思われる保育、託児については病院ごとに預け入れ年齢や定員などに差があった。
- ◆ 専門性の高い医師は子供の急病に際して容易に代理の医師を見つけることが難しいため、病児保育への対応は多くの病院の課題となっている。
- ◆ 全体的に法律に基づく対応は整備されているが医師の業務の特殊性から女性医師への対応に苦慮している病院もわずかながら残っている。

アンケート調査にご協力いただき
誠にありがとうございました

大阪医科大学女性医師支援センター